



平成22年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成23年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 地域で取り組む子育て支援事業	城山商工会女性部	子どもに遊具の取り扱い方や紙芝居の読み聞かせを行うことで、子どもの感性を養うとともに、子育てという同じ悩みを持つ母親同士の情報交換と交流の場づくりを行うことを目的とする。	子育て支援事業の開催(6回) 開催日: 9月17日(金)、10月14日(木)、11月9日(火)、12月8日(水)、2月9日(水)、3月2日(水) 内容: 絵本の読み聞かせ、遊具の取扱い教室など 参加者: 親子延べ118組(266名)	絵本の読み聞かせを行ったことにより、少しずつではあるが子どもたちが言葉や動作を覚え、表情が豊かになった。また、遊具の取り扱い方法を学びながら、子ども同士のコミュニケーションが図られた。 子育てという同じ悩みを抱えた母親同士の情報交換の場づくりを行うことができた。	事業を実施したことにより、子どもたちだけではなく、母親同士のコミュニケーションづくりに繋がった。 遊具や絵本を揃えることができ、より一層子育て支援に注力できた。こうしたことから、以前より開催回数が増えるなど、地域で育児に悩む子育て世帯に貢献することができたと評価している。 今後もこの事業を継続し、引き続き地域での子育てを支援していきたい。	H22.7.15	108,000
2 里山環境保全事業	プチエコ城北	里山の環境保全・環境保護を図ることを目的とする。	あじさいの刈り込み作業に機械を導入することにより、作業を効率化することができ、特に作業者の疲労軽減を図ることができた。 のぼり旗を制作・設置することにより、訪れた方々に里山保全の大切さを啓発することができた。	会員の高齢化とともに、あじさいの刈り込み作業が重労働であったが、機械の導入により会員の疲労軽減と作業時間の短縮を図ることができた。 また、啓発活動は短期間では目に見えない効果は表れないが、多くの方々に里山保全の大切さ等を知ってもらえたと感じている。	活動を維持継続していくためには、会員の理解と協力が不可欠であるが、今回の事業を通じて活動の合理化と作業の改善が図られた点を評価している。 今後も、地域を訪れる多くの市民の皆さんのために、里山の環境保全活動に継続して取り組んでいきたい。	H22.7.15	175,000
3 地域住民のコミュニティ推進活動事業	つくいレクリエーションクラブ	レクリエーション活動を通して、子どもから高齢者までの幅広い世代のコミュニケーションの場づくり、生きがいづくり、レクリエーション活動のきっかけづくりを提供し、地域住民のコミュニティ推進を図ることを目的とする。	レクリエーション講習会「自然と遊ぶ子ども塾」10月2日(土) 相模原スポ・ツフェスティバル 10月11日(月) 城山もみじまつり 10月17日(日) 川尻小学校元気が出るつどい 11月7日(日) ファミリースポーツフェスタinしるやま 2月26日(土) ノルディックウォーキング教室(5月~3月:月1回開催)	レクリエーション事業では、「チャレンジ・ザ・ゲーム」の要望が多く、参加者には大いに楽しんでいただいた。「ディスゲッター」や「大なわとび」に人気集中中、用具の不足から十分な展開ができずにいたが、今回用具を揃えることができ、より多くの参加者の皆さんに大いに楽しんでいただくことができた。	事業展開を通じて、子どもたちにレクリエーションの楽しさが浸透してきているとともに、回を重ねるごとに参加者も増加しており、広がりが出てきていることを大変うれしく感じている。	H22.7.15	118,000
4 「津久井の歴史こぼれ話を語る会」講話記録集「春林文化 津久井の歴史と風土」刊行事業	津久井の歴史こぼれ話を語る会	講話記録集「春林文化津久井の歴史と風土」を刊行することにより、地域の歴史や文化・伝統を後世へ継承するとともに生涯学習に寄与することを目的とする。	平成22年1月から12月まで、12回の歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」を開催した。また、その講演内容を講話記録集「春林文化6号津久井の歴史と風土」にまとめ刊行し、市内小中学校、公民館、図書館に配架した。	刊行した「春林文化6号津久井の歴史と風土」は、市内の小中学校・公民館・図書館に配架して、広く市民の皆さんに地域の歴史・文化・風土・伝統を承継することができた。 歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」の開催及び「春林文化6号津久井の歴史と風土」の刊行を通じて、相模原市域のみならず、多摩地域他の歴史愛好者にも広く知られるようになり、歴史講座の聴講者も時には150名にも及ぶなど、格好の生涯学習の場になっている。	歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」も今年3月で147回を迎え、また、講話記録集「春林文化」も連続4回発刊することができた。歴史講座では、多くの熱心な受講者に支えられ、地元の古老、地域郷土史研究者、さらには有名大学の教授の皆さんにも快く講師を引き受けていただけると成長した。記録を書籍として残すことの重要性を強く感じており、今後も活動を継続していきたい。	H22.7.15	900,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
5	小倉水辺広場の整備事業	小倉ゆうゆうクラブ	水辺環境の保護・保全を図り、観光振興につなげることを目的とする。	公園内の樹木の剪定作業にヘッジトリマーを導入したことにより、特につじの植込みを綺麗に剪定することができた。 草刈後の清掃及び落ち葉の清掃にプロアールを導入することにより、凸凹の多い公園内の清掃作業を効率よく行うことができた。	樹木の剪定作業の効率化が図られた。 落ち葉等の清掃作業の効率化が図られた。	小倉水辺広場周辺環境の整備を行ったことにより、水辺環境の保護・保全が図られ、観光振興につなげることができた。	H22.8.31	33,000
6	葉山島地域活性化事業	湘南みらい実行委員会	地域に多くの観光客を呼び込むことにより、葉山島地域の活性化を図ることを目的とする。	実施日:10月11日(月) 内容:落花生の収穫体験、地元野菜・加工食品の直売、模擬店、地域の観光案内、その他のイベントコーナー 広報:リーフレットの作成・配布 来場者数:約400名	今回のイベントでは、初めて来場された方が多く、イベントを通じて葉山島の良さを知ってもらうことができた。 また、リーフレットの作成・配布により、多くの観光客が「そうせいの滝」をはじめとする地域の観光スポットを訪れるようになり、地域の活性化に繋がった。	秋の収穫祭は平成19年度から開催してきたが、近年では、葉山島地域の秋の風物詩として定着してきている。 実行委員会で育てたお米も即日完売になるなど高評価をいただいております。今後は体験型農業ができる仕組みづくりを検討したい。	H22.8.31	485,000
7	自治会加入促進啓発及び観光情報発信事業	城山自治会	地域の観光資源を発掘することにより城山の良さをアピールするとともに、自治会への加入促進を図ることを目的とする。	城山地区の風景やイベントなどを紹介した写真と自治会加入促進のPRキャッチコピーを掲載したカレンダーを1,000部作成し、自治会加入促進啓発事業を展開した。 配布先:自治会未加入者400部、各単位自治会120部、城山商工会90部、民生委員100部、保護司20部、行政機関120部、公共施設(病院含)150部	自治会加入世帯が395世帯から415世帯に増加した。 自治会内の各班長から好評を得て、自信をもって班内の未加入世帯に配布することができた。 城山地区の風景やイベントなどを紹介した写真が好評で、城山地区の観光をPRすることができた。	自治会内の各班長の協力のもと、自治会加入促進活動を展開できたことは、地域における公共的な活動の担い手育成にも効果があったと評価している。 また、安全・安心なまちづくりを目的とした地域の輪を広げながら、美しい城山地区を紹介できたことは非常に有意義であった。 今後も自治会未加入の方を対象とした加入促進活動を継続して展開していきたい。	H22.9.1	986,000
8	小松川環境保全整備事業	小松川を守る会	川の環境保全を進めるとともに地元住民の憩いの場づくりを行い、観光振興及び地域振興に寄与することを目的とする。	会員による草刈り等の環境保全活動を定期的実施した。 川に棲む動植物の保全及び環境美化に努め、地元の小学生の学習の場とすることができた。	川の環境が保全された。 観光振興と地域振興に寄与した。 地元住民の憩いの場となった。 機械化により作業効率が向上した。	今年度の活動を通じて、小松川を愛する私たちの活動がより充実したものとなった。 今後も小松川を大切に守っていく活動を推進していきたい。	H22.10.6	128,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
9	カワラノギクの保護及び啓発活動	カワラノギクを守る会	子どもたちとともに、絶滅危惧種I A類の「カワラノギク」の保護・保全と啓発活動を行うことにより、環境教育の重要性を認識づけることを目的とする。	「カワラノギク」の保全活動とともに、「守る会の歩み」や「カワラノギクとは」、「活動の様子」などのテーマで展示パネルを制作し、啓発活動を行った。 湘南小学校の総合学習に参画し、子どもたちに対して環境教育を実施した。	展示パネルを使用した啓発活動により、絶滅危惧種I A類の「カワラノギク」について広く啓発することができた。 湘南小学校の総合学習の場で環境教育を行うことにより、子どもたちの環境意識を高めることができた。	啓発活動に展示パネルを導入したことにより、啓発活動を効果的に行うことができたと評価している。 今後の会の活動がより活発になるとともに、新たな会員の参加が期待できると感じている。	H22.12.7	67,000
								3,000,000